

## 前回（第2回）での主なご意見

（○：参加者のご意見、→：事務局の回答）

### ■新小岩北口まちづくり構想（たたき台案）について

○居住と商業を一緒くたにしてまちづくりの方向性を決めることは難しいと思うので、どのように折り合いをつけるか教えてもらいたい。活気があるのは良いことだが、夜遅くまで騒がしいと眠れない等居住者として気になることがある。

→街区ごとに基本方針を全て実現できることが理想だが、いくつか実現できれば良い。ただし、皆さまには基本方針と逆行する内容は良くないという認識を持ってもらいたい。基本方針1には「居住」というキーワードを入れているとおり、居住と商業のバランスを取りながら、良好な住環境を形成できると良い。

→本地区は駅前という立地や葛飾区都市計画マスタープランにおいて広域拠点に位置付けられていることもあり、多様な都市機能が集積している。一方で、都市機能の棲み分けは必要であると考えているので、皆さまのご意見を踏まえて具体的な検討を進めていきたい。

○居住環境のことを考えると、治安の良さが一番大事である。本地区は昔と比べると、治安が非常に良くなっていると感じるので、治安の良さを維持していくことも大事である。

→治安については、本日の意見を踏まえ、追加することを検討したい。

○本構想（たたき台案）の4ページ「まちづくり構想の実現」において、「具体的なまちづくりの検討へ進む」とあるが、今後は検討する街区を整理してから進めるのか。

→ご意見のとおりである。本地区は約4.8haと広範囲なので、街区ごとの検討が必要であると考えられる。そのため、街区ごとの検討を進めるにあたっては、共通の方針が必要であり、本構想が相当する。

### ■当面の開催予定とテーマ（案）について

○本構想素案の段階から具体的なイメージを持って本構想を検討した方が良いと思うので、より多くの関係権利者と意見交換した方が良い。

→区としても、本会の参加者を増やし、意見交換を行いたい。本地区のまちづくりの状況を知らなかったと言われない状況にしたい。

○あまりイメージが湧かないが、本地区で新小岩駅南口地区の再開発のようなことが行われると認識した。本地区で新小岩駅南口地区と同様の再開発を進めることは難しいと思う。

→現時点で再開発を進めていくとは決まっていないが、可能性はある。

○具体的な検討の開始時期を令和7年冬よりも早められると、興味を持ちやすく、参加者が増えるかもしれない。個人的にも声を掛けやすい。

→本構想に関するアンケートの実施等、本会に参加していない方の意見を集めることも考えている。今回は段階的に進める内容を提案した。事務局でまちづくりの機運が高まるようスピード

感をもって検討したいが、早く進めることに対して反対する方がいるかもしれないことにも留意しなければならない。

○強い言葉になってしまうが、再開発に向けた会等「再開発」などの人を惹きつけるキーワードを本会の名称に入れた方が、参加者が増えるのではないかと。また、参加者を増やす案として、新小岩駅南口地区の再開発を紹介する等、本会の活動ではないが興味を持ってもらう方法が考えられる。

→「再開発」は興味を持ってもらいやすいキーワードではあるが、現時点では何も決まっていないので、記載することはできない。ただ、新小岩駅南口地区の再開発の紹介は可能であり、案内の仕方は権利者に興味を持ってもらえるように工夫したい。

### 参考：第13回新小岩駅北口地区街づくり勉強会での主なご意見

開催日時：令和6年1月26日(金)午後6時～6時55分

内容：・新小岩北口 ReDESIGN 会議の設立報告

・新小岩北口まちづくり構想（素案）

・新小岩駅周辺の主な基盤整備や街づくり

・新小岩駅周辺におけるエリアマネジメントの検討について

主なご意見：

・エリアマネジメントの社会実験の結果を比較すると、新小岩南口側の方が来場者数が多い。新小岩北口側にも多くの方が来てもらえるようなまちにしていきたい。

・北口駅前広場を有効活用できれば、まちづくり構想の基本方針2にも繋がると思う。

・社会実験イベント等のポスターを事前に提供してもらえれば、店頭等に貼り周知に協力したい。